

体験講座が増えました 第23回 青少年文化体験フェスタ開催さる

7月5日(土) 狭山市立南小学校にて 体験者延べ総数 364人

あいにくの雨でしたが、PTA連合会や交通安全協会のみなさまのご協力のもと、今まで以上に充実した体験フェスタが行われました。今回は15講座と提供講座数も増え、以下の2団体が初めて参加しました。

「さやま遊糸会」による手織り機と糸紡ぎの体験では、「楽しくて嬉しい。一家に一台欲しい」など夢中に取り組む姿がありました。ちょうど富岡製糸場が世界遺産登録で話題になっていることもあり大人にも喜ばれました。



手織りの楽しい体験



会場の南小学校

指導者の皆さまには手織り機をこの講座に向けて増やして頂きご協力に感謝いたします。

また、「狭山紙芝居喜楽座」では、紙芝居を読むことのコツを聞いてからひとりずつ発表しました。はじめは緊張しているようでしたが、それぞれに工夫をこらし楽しめたようです。子ども



PTA 連合会も受付の手伝い

たちから学ぶことがたくさんあって、子どもたちの表現力に感動したと指導者から感想をいただきました。

文団連のホームページで興味をもたれた嵐山町文化団体連合会から事業視察にいらしていただき、来年1月に嵐山町でも文化体験の場を設けると伺いました。

日本文化の伝承を担って行く団体として成長していきたいと改めて思いました。

これからもたくさんのお子様たちを受け入れる工夫をしながら様々な文化体験の場として開催してまいります。小中学校の校長先生をはじめ皆さまに引き続きご協力をよろしくお願いいたします。また、指導団体を募集しておりますので、ご関心のある団体はお問い合わせください。(狭山市文化団体連合会 090-6162-1662 まで)